

大山山頂(標高1252メートル)からの初日の出。県内で最も早くご来光を見ることが出来る特別な場所です

# 新春を寿ぐ お正月の恒例行事

1月1日、雲の切れ間から徐々に赤みがかった光が、眼前に広がる関東平野や相模湾を照らします。新たな年が始まる元日は日本人にとって特別な一日です。

「月の鏡 小春に見るや 目正月」。これは、江戸時代前期の俳諧師で、紀行文「おくのほそ道」の作者として有名な松尾芭蕉が詠んだ句です。「小春」は初冬の穏やかで温かい日が続くころ(陰暦の10月)のことで、小春日和とも称されます。こうした季節に、鏡のように澄んだ美しい月を見るのは、まるで「目の正月」のようだという気持ちを表現したものです。当時からお正月は美しい物や珍しい物などを見て楽しむ、一年で一番楽しい時季とされていました。

おめでたい雰囲気にも包まれる中、我が国には古くから受け継がれてきた独特の風習があり、一つ一つに込められた意味は深く面白いです。今号では、新たな一年を明るく迎え、健康で幸せに過ごせるように、大切に育まれてきた伝統行事を紹介します。

## そもそも、お正月って何だろう

日本では各家庭が年神(歳神)様を迎え、新しい年を始めるための行事となっています。この神様は、子孫繁栄や五穀豊穡、健康長寿などをもたらすとされています。

「正」という字には年の初め、年を改めるという意味があります。このため古くは、新年最初の月「1月」をお正月と呼んでいたようです。しかし近年、1月全体を意味することは、ほとんどありません。現在は1月1日～3日までの「三が日」、7日までの「松の内」、そして15日までの「小正月」の期間を指すのが一般的です。

また「年」や「歳」は、もともと稲の実りや穀物を司る神様を表す言葉でした。稲は農耕民族であった日本人にとって、非常に大切な穀物です。当時の人々は新年の始めにその年の豊稔を願って、穀物の神様に祈りを捧げていたのです。

## 幸福を招く、和の趣「正月飾り」

門松やしめ飾り、鏡餅といった正月飾りを見ると年が明けることを実感できるほか、日常生活に彩りを与えてくれます。しかし、それぞれに込められた意味があるをご存じでしょうか。

お正月には年神様が、一人一人に1歳の年と幸運を授けるために各家庭を回ります。そのため、年神様が家を見つけやすいようにするほか、気持ちよく滞在していただくための居場所になるものが正月飾りです。それぞれの意味を知ること、先人たちが込めた願いが見えてきます。

### 門松



**松** 一年中緑色の常緑樹であるため「永遠の命」の象徴  
**竹** 真っ直ぐに力強く伸びることから「誠実な姿」や「強い志」の象徴  
**梅** 新春一番に咲くとされることから「出世」や「開運」の象徴

年神様が家々に降臨するときの目印とするため、玄関先や門構えに置きます。歳寒三友と称される松・竹・梅を使用します。寒い冬でも葉が枯れないため、その力強さからそれぞれに上記のような意味があります。

### しめ飾り



神社のしめ縄と同じように魔除けの役割を果たしているほか、「神域と現世を隔てる結界」という意味もあります。飾ることで、神様が安心できる神聖な場所となります。

地域によって形が異なり、現代ではリース状になるなどバラエティーに富んでいます。大切な場所ということで玄関先の軒下や、玄関ドアのすぐだけ高い位置に飾るのが一般的です。

### 鏡餅



年神様へのお供えものであるほか、神様が宿る依り代(寄りつくもの)でもあります。お餅はもち米からできており、稲には人と同じように霊力が宿ると言われています。

一粒一粒に霊力が宿ったお米を、さらにつぎ固めて作るお餅は、強い霊力が宿る神聖な食べ物と考えられてきました。供えたものを食べることで、豊作や健康を祈りました。

われています。外す時期は地域によって異なりますが、一般的には1月7日の松の内が終わるまでは飾ったままにします。外した正月飾りは、近くの神社へ納めたり、どんど焼き\*で燃やしたりするのが理想です。

\*年神様を見送る行事。小正月までに行うのが通例

### 飾るのに適した時期・外すのに適した時期

12月28日までに飾ることが一般的です。29日～31日は、それぞれ縁起が悪いとされる次のような理由があります。

29日は、発音した際に「二重苦」になるため縁起が悪いとされます。また、大みそかである31

## 新春の伊勢原を彩る、1月の主な行事

新たな年を迎えたことを共に祝い、楽しめるさまざまなイベントが市内で行われます。色鮮やかな催しを写真で紹介しします。

### 1月8日(日) 消防出初式/新春市民の集い

お気軽にご来場ください。なお、来場の際は公共交通機関のご利用をお願いします。  
交通 伊勢原駅北口3番バスのりば「七沢」行きで「総合運動公園」下車

**消防出初式**  
消防署・消防団による演技や8色の色付き一斉放水を行います。  
とき 式典 午前9時30分～  
演技 午前10時10分～

**ところ** 総合運動公園自由広場  
**主な催し** 消防演技、一斉放水 ほか  
※荒天時は、午前10時から式典のみ市体育館大体育室で実施します



消防総務課☎95-9143

### 新春市民の集い

新しい年の門出をみんなで祝いましょう。叙勲受章者や褒章受章者を紹介します。  
とき 午前11時10分～  
ところ 市体育館小体育室  
☎秘書課☎94-4843

### 1月9日(月) はたちのつどい

今年1024人が年度内に20歳を迎えます。市では、はたちのつどい実行委員会35人の協力で、成人式に代わる式典「はたちのつどい」を行います。居住地ごとに時間帯を分けた2部制です。詳しく

は市ホームページ「成人・就職」→「はたちのつどい・成人式」、または右のQRコードからご覧ください  
※保護者ほか一般の人の入場不可 市ホームページ



**とき** ①午前11時～11時30分 ②午後1時30分～2時(受付はそれぞれ30分前から)  
**ところ** 市民文化会館大ホール  
**対象** 平成14年4月2日～15年4月1日生まれで①伊勢原・中沢中学校区在住の人②山王・成瀬中学校区在住の人

**主な催し** 式典、実行委員会の企画制作による恩師メッセージムービーの上映、恩師メッセージブックの配布 ほか

◇当日出席できない人は、1月31日(火)まで案内状と引き換えに恩師メッセージブックを市役所5階の担当で受け取れます



祝 伊勢原市成人式 昨年の成人式

☎青少年課☎94-4647

### 1月15日(日) 第40回伊勢原駅伝競走大会

一本のたすきに思いを込めて、懸命に走る選手たちに温かい応援をお願いします。  
**スタート時刻** 午前10時  
**スタート・ゴール** 総合運動公園(中継所：東富岡八幡神社)

新春恒例の伊勢原駅伝競走大会。東富岡・粟窪地区を周回する17.55kmのコースを、地区対抗と一般の部、5人1組の総勢39チームが競います。



### ミニ駅伝 スタート時刻

女子の部 午前8時30分 男子の部 午前9時10分  
専修大学伊勢原総合グラウンド周辺では、小学校5・6年生のミニ駅伝を行います。1周1.3kmの周回コースを1チーム5人で走ります。

☎スポーツ課☎94-4628

### 1月26日(木) 文化財防火デー

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺金堂が炎上し、壁画が焼損したことから、毎年1月26日と定められました。

市内には、国、県、市の指定・登録文化財が合わせて79件あります。大切な財産を火災から守り、後世へと伝えるため、防火指導や初期消火訓練、消防署・消防団による合同放水訓練を実施します。

**とき** 午後2時～3時

**ところ** 三之宮比々多神社



☎消防本部予防課☎95-2117